

そうだったのか!

# 基本から実践、医療との連携まで まるごとわかるADHD

## 2023年7月29日(土) 13:00~16:00

### オンライン型セミナー

受講料 各講義 **3,500円** (全3講義へ同時申し込みの場合 7,000円)

全**3**講義

定員

各**70**名

(先着順)



多動・衝動などの行動面の課題から、保育・教育現場でも支援のニーズが高いADHD(注意欠如・多動症)。かわり手が接し方に苦戦する以上に、ADHD児本人とご家族は社会からの様々な抑圧に苦しんでいます。「多動」であることが問題視されがちですが、本質的な課題はどこにあるのか。幼児期～成人に至るまでの間、本人と家族にどのような支援が必要なのか。本セミナーでは、ADHDの子どもとその家族と「つながる」ための基本的理解と、長期的な視野をもった支援環境づくりについて学びます。

### 講義 1

講座番号

200-1

オンデマンド  
配信

【動画配信期間】2023年7月24日(月)~7月29日(土)

## ADHDの基本的特性と支援

— 本人と家族の幸福に向けて考えたいこと —

講師 遠藤 愛 (文教大学人間科学部 准教授)

本講義ではADHDの基本的特性やその捉え方、具体的な支援方法について学びます。そしてADHDの子どもと家族の幸福に向けて、時間をかけて育てていきたい力・心がけていきたい事を提案します。

### 講義 2

講座番号

200-2

ライブ配信

【解説①】2023年7月29日(土) 13:00~13:50

## ADHD傾向の子どもへの教育支援

— 多動な子、キレやすい子、整理整頓ができない子などの学校・幼稚園での支援 —

講師 服部 純一 (星美学園短期大学日伊総合研究所客員研究員)

教育現場でも、多動で授業中に落ち着かない、些細なことでキレやすく暴力的になりがち、整理整頓ができない、忘れ物が多い等、教員や保育者にとっては指導上どう対応したらよいか迷うケースも多く見られます。通常学級でのADHD傾向の子どもに対し、効果的だった実践例を紹介しながら、特別な教育支援を考えます。

【解説②】2023年7月29日(土) 14:00~14:50

## 医療からみた注意欠如・多動症の理解と支援

— 医療を受診する契機と受診を続ける意義 —

講師 北島 翼 (獨協医科大学埼玉医療センター 子どものこころ診療センター)

「どのように理解し状況を変化できるか」を本人・家族と見立てることが医療的支援の第一歩です。ADHD特性と理解することが助けになる子ども達もいます。このような子に医療ではどのような支援ができるか紹介します。

### 講義 3

講座番号

200-3

ライブ配信

【対談】2023年7月29日(土) 15:00~16:00

## 本人と家族を支えるために教育や医療ができること

— 二次的な障がいを引き起こさないための支援に必要なこと —

講師 服部 純一 (星美学園短期大学日伊総合研究所客員研究員)

講師 北島 翼 (獨協医科大学埼玉医療センター 子どものこころ診療センター)

ADHDの傾向のある子どもは、多様な行動上の困難性がありますが、本人の意識や自律できる範囲を超えた反応に対し、規制や叱責だけが投げかけられ適切な支援がなされないことで、二次的な障がいを引き起こすこともあります。二次障がいを引き起こさせない支援のために何が出来るか、実践可能な本人や家族にどのような迫り方が出来るかを、講義2で解説した医師と教員の2名が対談形式で一緒に考えます。

受付期間:2023年5月8日(月)~6月26日(月)必着

